

社会学演習 II

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

久木元 真吾

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は、社会学の文献の講読、および個人研究の報告を行う。それらを通じて、社会的な思考法、研究の進め方とまとめ方、プレゼンテーションおよびコメント・ディスカッションの習熟をめざす。

本演習の主な領域は、家族・ライフコース・ジェンダーに関する社会学である。また、多文化的状況や国際比較研究についても関心を払う予定である。

社会学演習IIIは、履修者の研究報告を中心に進める予定である。

2. 授業の到達目標

自らの問題関心に基づいて適切な問いを設定し、その問いについて論理的・社会的な思考をし、その思考を言葉で表現・説明できるようになること。

一年間の研究の成果をまとめたレポートの提出が必須である。

3. 成績評価の方法および基準

報告の内容(30%)、議論への参加度・貢献度(50%)、提出課題(20%)により評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定なし

参考文献

適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

毎回、演習で質問や議論ができるよう、関連するテーマについてあらかじめ調べておき、疑問点や自分の考えを整理しておくこと。グループでの作業や議論も、必要に応じて進めておくこと。

6. その他履修上の注意事項

「人口と家族の社会学」および「家族とジェンダーの社会学」を履修済みであることを前提に授業を進める。

欠席・遅刻不可。議論への積極的な参加は必須である。

7. 授業内容

- 【第1回】 インTRODakシヨン／報告分担の決定
- 【第2回】 報告と議論
- 【第3回】 報告と議論
- 【第4回】 報告と議論
- 【第5回】 報告と議論
- 【第6回】 報告と議論
- 【第7回】 報告と議論
- 【第8回】 報告と議論
- 【第9回】 報告と議論
- 【第10回】 報告と議論
- 【第11回】 報告と議論
- 【第12回】 報告と議論
- 【第13回】 報告と議論
- 【第14回】 報告と議論
- 【第15回】 まとめ